

報道機関各位

箕輪町保健補導員会の解散について

平成元年から18期続いた箕輪町保健補導員会が令和5年度をもって解散します。長年にわたる活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。

箕輪町保健補導員会とは

町では、平成元年（1989年）4月1日に「箕輪町保健補導員会」が発足しました。2年の任期の中でまず自らの健康意識を高め、さらにそれを地域に広め健康で明るい社会を築くことを目的として、各種健（検）診のとりまとめ、支部研修会の開催や生活習慣病予防活動など健康な地域社会づくりに大きく貢献していただきました。

社会環境・家族構成・就労環境の変化や感染症の影響での活動縮小などから検討を重ねた結果、住民の皆様の負担軽減を優先し、令和5年度をもって解散をすることになりました。

みんなで目指す健康な地域づくり

今後も各種健（検）診を受け、ご自身の健康状態を知り、健康意識を高めることで地域みんなが健康になるよう心がけましょう。

添付資料 有 無

健康推進課 健康づくり支援係

（課長）小田切 正憲 （担当）都志 美紀

電話：0265-79-3118（内線）1513

FAX：0265-79-0230

E-mail:kenko@town.minowa.lg.jp

箕輪町保健補導員会の今後について(概要版)

背景・経緯：昭和46年当時、脳卒中多発県であったことを背景に予防活動を自主的に行うため組織化され、当町では平成元年に発足

目的：自主的な組織活動を通じて、まず自らの健康意識を高め、さらにそれを地域に広め、健康で明るい社会を築くことが目的

内容：①成人保健活動への取組み（検診等について）、②保健補導員等の育成、③健康まつり等への参加

現状：①就労環境等の変化により専業主婦が減少し、活動が「休日・夜間」、②地域より個人・各戸を重視する傾向、③常会加入率低下や高齢化等により「負担が大きい」との声、④常会選出のため「やらされ感」が強く、常会非加入者が役を負わないことへの不公平感が存在、⑤個人情報保護の観点やコロナの影響により「検診とりまとめ」が郵送化

解散の影響：メ…負担感、不公平感が解消。メ…報酬や補助金が不要となり約182万円の経費が削減。デ…集団アプローチの場が減少

結論：健康寿命の延伸等の所期目的は一定程度達成した点及び住民負担の軽減の観点から令和5年度をもって解散する

上伊那支部もR4年度に県組織から脱退。伊那市、辰野町、飯島町、でも制度廃止等が相次いでいる

負担感・不要論